

全体経緯 活動内容 分析表

協働取組に至る経緯			テーマ	種の図書館プロジェクト				
			窓口団体			団体名	OBUSE食と農の未来会議	
協働取組に至る内容と成果			活動No.	活動①	活動②	活動③	活動④	活動⑤
			時期	食と農の勉強会	除草剤の検証			
			名称					
			対象課題					-
			取組背景					-
			取組内容					-
			取組成果					-
			連携先					-
経緯のまとめ								

鍵となった出来事、きっかけ
(活動推進のわけ)

測不可能に変化していく環境下において、北信地域・小布施町で生存することができる生態系・種・遺伝子の多様性を永続的に保全することが、地域および人類の未来へと続いている。そこで、在来種を含む一般品種を保全することを目指し、「種の図書館」を構想する。
現在、国内で栽培される野菜の種子は約9割を海外から輸入しており、外来種の持ち込みによる生態系の乱れと、再生産することができないF1種子の増大、遺伝子組換えやゲノム編集といった遺伝子操作された種子が生態系に及ぼす影響、さらに新型コロナウイルスの影響によって種子・種苗の輸入が滞る懸念が生じている。種子・種苗の不足は、国内農業はもとより国民食料へも大きな打撃を与える憂慮すべき事態である。

対象課題を名称としました	現状活動評価		テーマ			
	窓口団体			団体名	OBUSE食と農の未来会議	
				住所		
				電話番号		
				担当者	プロジェクトリーダー 竹内 淳子	

分析期間		年月～年月				
現状の活動内容と成果	活動No.	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5
	名称	種の図書館①種の課題・問題の認知向上	種の図書館②在来種の種の循環	種の図書館③種の保管	種の図書館④種に対する学び	種の図書館⑤種から育てたものの「味わい」の実感
	対象課題	種の課題・問題の認知向上	在来種の種の循環	種の保管	種に対する学び	種から育てたものの「味わい」の実感
	活動内容	北信地域・小布施町で栽培されている農作物、特に長い年月を経て今もなお栽培されている伝統的な野菜の種子を収集し、「種の図書館(イメージ)」を開設する。	保管する種子を、地域の希望者に貸し出し、収穫後に種をとって返してもらうことで種子を更新し、永続的な保全を可能とする。	「種の図書館」を開設し、北信地域・小布施町内からの種の提供を呼びかけ、収集した種をガラス瓶に入れて保管する。	種の収集と貸し出しが恒常化するまでの間は、人々の関心を高めていくための「展示」を意識するとともに、在来種の種取りや保存方法を講師から学ぶ、生態系・種・遺伝子の多様性を保全する意義を広める拠点のひとつとする。	栽培された地域の農作物を学校給食に用いることで、子どもたちの味覚と心に残る郷土愛を育てていく。
	予想活動成果	知ってもらうことで種やどんな種や土からできた野菜かを選ぶ意識が醸成される。	外部要因の影響の少ない孫土地固有の在来種、伝統種の種を維持できる	種のストックができる。影響がすくない種との比較が可能になる。	変化する土や種について、学ぶ機会を得て、その結果食に対する意識向上につながる。	自分達が食べるものに対する、安心・安全の域が向上する。
	連携先	小布施町立図書館、小学校、中学校、農家、JA、美術館	小布施町立図書館、小学校、中学校、農家、JA、美術館	小布施町立図書館、美術館	小布施町立図書館、小学校、中学校、美術館、JA、農業試験場	小学校、中学校、町内のレストラン、ツルヤ、農家、JA、家庭菜園、オープンガーデン
活動に対する現状の評価と課題	伝統野菜は作られているが、種の把握がまだできていない。	種を貸し出し返してもらう仕組みがまだできていない。	保管場所や使用できる畑がまだ定まっていない。	種に影響のある除草剤や、影響のない農薬について、まだ定まっていない。それを調べる機関との連携の耕畜が必要	無農薬野菜や有機農法による野菜は、学校給食でも味わう機会できた。それを日常化するための生産量や仕組みが必要。	

分析表活動1

種の図書館① 種の課題・問題 の認知向上

対象課題	種の課題・問題の認知向上
活動内容	北信地域・小布施町で栽培されている農作物、特に長い年月を経て今もなお栽培されている伝統的な野菜の種子を収集し、「種の図書館(イメージ)」を開設する。
活動成果(予想)	知ってもらうことで種やどんな種や土からできた野菜かを選ぶ意識が醸成される。
連携先	小布施町立図書館、小学校、中学校、農家、JA、美術館
現状の評価と課題	伝統野菜は作られているが、種の把握がまだできていない。

地域循環共生圏への貢献 (どのような形で貢献しているか具体的に記入)	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
	自然環境に対する意識向上	土地や土、そこで作られるものとのつながりを意識するようになる。	地域内での地産地長、地域ブランドの向上につながる
SDGsへの貢献 (該当すれば●、もしくは貢献とその内容を直接記入)	↓	↓	↓
 1 貧困をなくそう			
 2 飢餓をゼロに			
 3 すべての人に健康と福祉を	●		
 4 質の高い教育をみんなに	●		●
 5 ジェンダー平等を実現しよう			
 6 安全な水とトイレを世界中に			
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
 8 働きがいも経済成長も	●		●
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	●		●
 10 人や国の不平等をなくそう			
 11 住み続けられるまちづくりを			●
 12 つくる責任つかう責任		●	
 13 気候変動に具体的な対策を			
 14 海の豊かさを守ろう			
 15 陸の豊かさも守ろう			
 16 平和と公正をすべての人に			
 17 パートナリシップで目標を達成しよう			

種の図書館② 在来種の 種の循環

対象課題	在来種の種の循環
活動内容	保管する種子を、地域の希望者に貸し出し、収穫後に種をとって返してもらうことで種子を更新し、永続的な保全を可能とする。
活動成果(予想)	外部要因の影響の少ない孫土地固有の在来種、伝統種の種を維持できる
連携先	小布施町立図書館、小学校、中学校、農家、JA、美術館
現状の評価と課題	種を貸し出し返してもらう仕組みがまだできていない。

地域循環共生圏への貢献 (どのような形で貢献しているか具体的に記入)	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
	循環の意識を学ぶことができる。獲得したものを戻す仕組みを学ぶ。	人のつながり、地域教育、文化の向上	巡ることが地域に恩恵をもたらすことが実感できる。
SDGsへの貢献 (該当すれば○、もしくは貢献とその内容を直接記入)	↓	↓	↓
 1 貧困をなくそう			
 2 飢餓をゼロに			
 3 すべての人に健康と福祉を			
 4 質の高い教育をみんなに	●	●	●
 5 ジェンダー平等を実現しよう			
 6 安全な水とトイレを世界中に			
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
 8 働きがいも経済成長も			
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう			
 10 人や国の不平等をなくそう			
 11 住み続けられるまちづくりを			●
 12 つくる責任つかう責任	●	●	●
 13 気候変動に具体的な対策を			
 14 海の豊かさを守ろう			
 15 陸の豊かさも守ろう	●		
 16 平和と公正をすべての人に			
 17 パートナースhipで目標を達成しよう	●		

対象課題	種の保管
活動内容	「種の図書館」を開設し、北信地域・小布施町内からの種の提供を呼びかけ、収集した種をガラス瓶に入れて保管
活動成果(予想)	種のストックができる。影響がすくない種との比較が可能になる。
連携先	小布施町立図書館、美術館
現状の評価と課題	保管場所や使用できる畑がまだ定まっていない。

種の図書館③

種の保管

地域循環共生圏への貢献 (どのような形で貢献しているか具体的に記入)	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
SDGsへの貢献 (該当すれば○、もしくは貢献とその内容を直接記入)	↓	↓	↓
 1 貧困をなくそう			
 2 飢餓をゼロに			
 3 すべての人に健康と福祉を			
 4 質の高い教育をみんなに			
 5 ジェンダー平等を実現しよう			
 6 安全な水とトイレを世界中に			
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
 8 働きがいも経済成長も			
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう			
 10 人や国の不平等をなくそう			
 11 住み続けられるまちづくりを			
 12 つくる責任つかう責任			
 13 気候変動に具体的な対策を			
 14 海の豊かさを守ろう			
 15 陸の豊かさを守ろう			
 16 平和と公正をすべての人に			
 17 パートナーシップで目標を達成しよう			

種の図書館④

種に対する学び

対象課題	種に対する学び
活動内容	種の収集と貸し出しが恒常化するまでの間は、人々の関心を高めていくための「展示」を意識するとともに、在来種の種取りや保存方法を講師から学ぶ、生態系・種・遺伝子の多様性を保全する意義を広める拠点のひとつとする。
活動成果	変化する土や種について、学ぶ機会を得て、その結果食に対する意識向上につながる。
連携先	小布施町立図書館、小学校、中学校、美術館、JA、農業試験場
現状の評価と課題	種に影響のある除草剤や、影響のない農業について、まだ定まっていない。それを調べる機関との連携の耕畜が

地域循環共生圏への貢献 (どのような形で貢献しているか具体的に記入)		【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など) 環境負荷の減少、資源循環への貢献	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など) 人のつながり、地域教育、文化の向上、QOL増大	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など) 安全意識の向上による、ブランド価値の向上
SDGsへの貢献 (該当すれば○、もしくは貢献とその内容を直接記入)		↓	↓	↓
 1 貧困をなくそう				
 2 飢餓をゼロに				
 3 すべての人に健康と福祉を	●			
 4 質の高い教育をみんなに			●	●
 5 ジェンダー平等を実現しよう				
 6 安全な水とトイレを世界中に				
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに				
 8 働きがいも経済成長も				
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう			●	●
 10 人や国の不平等をなくそう				
 11 住み続けられるまちづくりを				
 12 つくる責任つかう責任	●			
 13 気候変動に具体的な対策を				
 14 海の豊かさを守ろう				
 15 陸の豊かさも守ろう	●			
 16 平和と公正をすべての人に				
 17 パートナーシップで目標を達成しよう				

対象課題	種の図書館⑤種から育てたものの「味わい」の実感
活動内容	種から育てたものの「味わい」の実感
活動成果	栽培された地域の農作物を学校給食に用いることで、子どもたちの味覚と心に残る郷土愛を育てていく。
連携先	自分達が食べるものに対する、安心・安全の域が向上する。
活動に対する現状の評価と	小学校、中学校、町内のレストラン、ツルヤ、農家、JA、家庭菜園、オープンガーデン

種の図書館⑤
種から育てたもの
の「味わい」
の実感

地域循環共生圏への貢献 (どのような形で貢献しているか具体的に記入)		【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
		輸送コストの減少から、環境負荷の減少、資源循環への貢献	人のつながり、地域教育、文化の向上、QOL増大	安全意識の向上による、地域ブランドの向上
SDGsへの貢献 (該当すれば○、もしくは貢献とその内容を直接記入)		↓	↓	↓
	貧困をなくそう			
	飢餓をゼロに			
	すべての人に健康と福祉を	●	●	●
	質の高い教育をみんなに			
	ジェンダー平等を実現しよう			
	安全な水とトイレを世界中に			
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
	働きがいも経済成長も			
	産業と技術革新の基盤をつくろう	●	●	●
	人や国の不平等をなくそう			
	住み続けられるまちづくりを		●	●
	つくる責任つかう責任	●	●	●
	気候変動に具体的な対策を			
	海の豊かさを守ろう			
	陸の豊かさも守ろう	●	●	●
	平和と公正をすべての人に			6
	パートナーシップで目標を達成しよう			